

# わかづばき

WAKATSUBAKI  
MATSUYAMA



Vol.12

2010

It's Possible!!  
PRINCIPLEを持って  
考える 気づく 行動する

社団法人 松山青年会議所  
<http://www.matsuyama-jc.or.jp/>



## 理事長メッセージ

「感謝～PRINCIPLEをもってともに歩もう～」  
祝ご卒業！ 2010年卒業生メッセージ

# 理事長メッセージ

## 「感謝 ~PRINCIPLEをもつてともに歩もう~」



第58代理事長 井川直樹

### 理事長活動報告

11月

- 10日(水) 日本JC 愛媛ブロック協議会2010年度理事長会
- 11日(木) 日本JC 人間力大賞2011 協賛企業ミーティング
- 12日(金) 松山JCシニアクラブ 総会11月例会
- 13日(土) 東かがわJC 創立25周年記念式典・祝賀会
- 15日(月) 日本JC 2011年度第9回正副会頭候補者会議
- 16日(火) 日本JC 2011年度第7回常任理事候補者会議
- 17日(水) 日本JC 2011年度第3回理事候補者会議
- 日本JC 2011年度第3回ブロック会長候補者会議
- 日本JC メディア懇談会
- 18日(木) 2010年度第2回総会
- 松山市長選に向けた「公開討論会」
- 20日(土) 日本JC 2010年度第10回理事会オブザーブ
- 22日(月) 第13回正副理事長会議
- 23日(火) 日本JC 2011年度地区事業説明会(沖縄地区)
- 27日(土) 日本JC 2011年度地区事業説明会(北海道地区)
- 28日(日) 日本JC 2011年度地区事業説明会(九州地区)
- 29日(月) 日本JC 2011年度地区事業説明会(東海地区)
- 30日(火) 松山商工会議所青年部広報誌「遊悠」対談取材
- 松山JC歴代理事長会議

12月

- 2日(木) 松山市民フェスティバル第8回実行委員会
- 3日(金) 日本JC 2011年度地区事業説明会(東北地区)
- 6日(月) 日本JC 2011年度第10回正副会頭候補者会議
- 7日(火) 日本JC 2011年度第1回政策発信会議
- 日本JC 2011年度第8回常任理事候補者会議
- 8日(水) 日本JC 2011年度第4回理事候補者会議
- 日本JC 2011年度第3回ブロック会長候補者会議
- 9日(木) JCI World Headquarters(セントルイス)
- 10日(金) JCI World Headquarters(セントルイス)
- 11日(土) 2010 JCI Handover Flag Ceremony(セントルイス)
- 12日(日) JCI World Headquarters(セントルイス)
- 14日(火) 第12回理事会
- 16日(木) 財団法人まちづくり市民財団 理事会
- 21日(火) 12月例会・卒業式

愛してやまないわが町まっやま。かけがえのない素晴らしい仲間と尊い貴重な一瞬の連続とともに歩んで来た二〇一〇年もいよいよ幕を閉じようとしています。そして、二九五二年以来五十八年間の長きに亘り、先輩青年たちより連綿と受け継いできた社団法人松山青年会議所の第五十八代理事長として役割も終了となります。

まずは、これまでにも考え、気づき、行動することによりお支えいただきました会員の皆さんに心よりの感謝とお礼を申し上げます。この二年間、本当にお世話になりました。ありがとうございました。そして、理事長という役割を担わせていただいた者の責任において、これからも「JAYCEE」として、しっかりとPRINCIPLEをもつて青

年会議所運動に邁進することをお約束するとともに、ACTIVE E-CITIZENを実践し続けていく覚悟でありますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

さて、私にとっての二〇一〇年は、不連続の連続と言われる青年会議所という組織において、二〇〇九年度小泉理事長より受け継いだ「まっやまの未来」に対し、一切の妥協を排して、愛するまっやまのためにまっやま前だけを向いてひたむきに歩み続けた二年でした。市民意識を魅了する運動とは一体何なのか？次代の子どもたちのために「憧れと誇りの凜としたまち まっやま」を創造するには、責任世代としてどの様な運動を展開しなければならぬのか？この二年、本当に何度も躓き、自分の無力さを目の当たりにするなかで自問自答と葛藤の繰り返しの日々でした。しか

し、そのたびに多くの仲間がフォローとなり、文字通り私の足りない部分を補完していただくことで「憲法タウンミーティング」や「公開討論会」、そして「まっやま市民フェスティバル」等に代表される多くの新たな運動を掲げ、実践することが出来ました。さらに、これから十年先の「まっやまの未来」を見据えた二〇一〇年代運動指針となる「まっやままっやまづくりビジョン」の策定には

多くの有識者から学生の皆さんにまでご参画いただき、私たちの運動の方向性について指し示すことが出来たと考えております。また、松山JCIの多くの会員の献身的な協力のもと、愛媛ブロック協議会、四国地区協議会の会員会議所とともに、公益社団法人日本青年会議所が主催する「全国会員大会」の主管立候補を実現することが出来ました。二〇一〇年は残念ながら成就

することが出来ませんでした。その過程において遅く鍛えられるとともに、相互理解と連携により会員一人ひとりの絆をより強固なものに出来たことは、四国における青年会議所運動が新たな飛躍へ向けて確かな一歩を踏み出したと考えております。あらためて、様々な運動を通して貴重な一瞬である機会をいただき、ありがとうございました。心から感謝申し上げます。

結びに、青年会議所運動への参画によって「己を知る」こと。そして、自分の「ガバナンス」を変えること。「青年」と呼ばれる私たちには、自分の可能性に挑戦する闘争心や、自分の限界に挑戦する冒険心により人生を骨太に生きる芯の強さを持つことが今、求められています。そして、幅広い知識、正しい見識、つよい胆識による「人間としての深さ」、高い志と熱い情熱、すぐれた才能と豊かな人柄による「人間としての幅」これらを修養することがJCIで「学ぶ」STRONG LEADERSHIPである。私は信じてやみません。たった一度しかない人生、青年会議所という学び舎で、この時代を豊かに逞しく生き抜く人間力を確立し、しっかりととしたPRINCIPLEをもつて、これからのともに歩んでいきたい。語りつくせない感謝を胸に、今一度衷心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございます。



# 1年を振り返って

## ● 政策提言発信会議

委員長 門田 伸治

今年度新たに組織されたこの会議体は「2010年まつやま まちづくりビジョン」の実行最終年度である今年、10年間の松山青年会議所の活動を検証・総括し、新たな「次の10年」に向けたビジョンを策定することを活動の柱として、1年間活動して参りました。「10年ビジョンの検証・総括」ではシニアのメンバーはじめ、対外的に会議所の事業に携わってこられた方々から貴重なお話をお伺いすることが出来、JC経験の浅いメンバーも含めて、改めてこの10年間の活動の成果を把握することが出来ました。また、「20年ビジョン」の策定に関しては、愛媛大学リーダーズスクールのメンバーと連携し、外部有識者並びに行政関係者も交えた有識者会議も開催させて頂き、幅広く意見交換や議論が出来ました。10月例会ではこれら一連の活動の成果として「110年ビジョンの検証・総括」と「20年ビジョンの策定」に関する、会議体としての報告をさせて頂きました。あらたなビジョンの基でスタートする2011年体制への繋ぎの意味も込めて、メンバー一丸となって取り組みをさせて頂きました。



## ● ローカルイズム推進委員会

委員長 増田 大典



本年度、当委員会では2つの事業に主に取り組んで参りました。

まず、主要事業である、松山春まつりお城まつりを4月4日(日)に実施いたしました。新しい試みとして、本年4月に第1期整備工事が終了した城山公園の堀之内地区で、市内外の様々な団体、学校、企業様にご協力をいただいた新規イベントを実施し、新しく生まれ変わった堀之内地区にたくさんの市民の方々に参加していただきました。堀之内地区での春まつりは、私も含め委員会メンバー全員が未経験ということもあり、当日においては準備不足な点が多々ありましたが、松山JCメンバー皆さまのご協力のおかげで大きなトラブル等もなく完遂することができました。

また、市民フェスティバルの分科会として青年経済人会議を8月27日(金)に実施いたしました。各団体様との打ち合わせ段階では、ぎりぎりまで変更が相次ぎ、不

安な状況での事業実施ではありましたが、結果的には各団体のメンバー様から青年経済人会議の継続を望む声がたくさん寄せられました。

最後になりましたが、担当スタッフ、委員会メンバーをはじめ、1年間ご支援いただいた多くのメンバーの皆さまに感謝いたします。ありがとうございました。

## ● 次世代育成委員会

委員長 雲瀬 理

2010年度、2度目の委員長を拝命し、委員会運営に関して2つの目標を掲げました。一つは全員参加の委員会作り、もう一つはしっかりと引き継ぐことのできる事業の構築。

2010年を終えようとしている今、自己採点するならば40点。誠に残念ですが悔いの残る一年となってしまいました。教育に取り組んでこられた歴代の委員長方に対して非常に申しわけなく思っております。

委員会として取り組んだ事業として、大谷晋二郎氏をはじめとするZERO-1を招いての5月例会、そこから次世代育成事業を様々な団体を巻き込んで実行…する予定だったのですが、委員長としての企画力・調整力不足により実現することができませんでした。当初よりたくさんの市民を巻き込んだ大きな事業をしなければという理想だけが先行し、実行力がなかった事を深く反省いたしております。

ただ、ひとつの救いは、小人数ではありましたが「次世代育成プログラム」を委員会メンバーの協力で、実行することができ、地域の子供たちや保護者の方々に喜んでいただいたことでもあります。何かと悔いの残る一年ではありましたが、後悔も含めこの一年間で経験した事を今後のJC活動はもちろん、仕事、人生においても活かしていければと考えております。

最後に、このような機会を与えていただきました井川理事長、そして何よりも一年間支えてくれた委員会メンバーに対して深く感謝を申し上げます。ありがとうございます。



## 国際委員会

委員長 西村 直樹

松山青年会議所としては、初めての国際系の委員会として発足したのが、私が委員長を務めました国際委員会です。本年は、まつやまの国際事情に関して右も左も分からない状態でしたので、松山市の国際文化振興課と、松山市国際交流センター（MIC）、また愛媛大学の国際連携推進機構と連携を取りながら進めて参りました。活動している中で感じたのが、国際交流は難しいということでした。4月の担当例会こそ、日本人対象のセミナーだったこともあり予想を上回る市民の方が参加してくれたものの、外国人も一緒に行うプログラムでは大変苦戦しました。プログラムの内容を伝えることすら難しく、それでも参加表明してくれた人も土壇場でキャンセルになったりと、多くの関係者にご迷惑をおかけしました。大変反省しています。



しかし、そんな私を田中副委員長、中岡幹事を中心とする委員会メンバーが年下の私をもり立ててくれました。本当に感謝しています。今後は今年の反省と感謝の気持ちを忘れず、JC運動に取り組みたいと思います。1年間、ありがとうございました。

## 拡大アカデミー委員会

委員長 岡田 和徳



まずは2010年度皆様、様々なご支援ご指導ご協力、誠に有難うございました。委員会としての大きな目標として2つありました。一つ目は新入会員の獲得、入会者へのご案内であります。準備段階からメンバーの皆様と一緒に電話させていただき有力情報をたくさんいただきました。シニアの先輩からかなりのご連絡をいただきましたことを今でも強く感謝しております。結果23名の個性豊かで実行力のある新入会員が入会していただけたことメンバーのひとりとして深く感謝しております。先達がかつて積み上げてきた歴史に少しでもお役に立てたら、つないでいければと井川理事長のもと委員会メンバーをはじめとして1年間奔走させていただきました。しかしながらもっと多くの獲得、何かできたのではないかと反省もありました。

この悔しい思いはきっと2011年大野理事長予定者、谷本副委員長予定者が中心となって晴らしていただけると信じております。2つ目は人間力研修であります。(社)日本青年会議所大澤トレーナーを中心としてマインドマッピング(脳のトレーニング)を奥道後にて開催いたしました。副委員長駄場元君を中心に新しい可能性を掘り起こすセミナーができたのではないかと思います。最後になりましたが本年度、うまくいかないことも多々あり反省の日々でしたがそんな中で青年会議所運動は下を向かないで上を向いて行おうと思いつけた一年でもありました。色々な場面を有難うございました。

## JC運動発信委員会

委員長 松本 仁

JC運動発信委員会では、委員会の主な事業として、2つを軸に活動してまいりました。まずは、この広報誌「わかつばき」。先輩から長年にわたり受け継がれてきた松山青年会議所のPRとしての歴史は長く、前身の「JC NEWS」を含めると46年(1964年～)にもなります。今年は見て分かりやすく発信力のある校正をコンセプトに、初めての試みとなる全項カラーにて発刊させていただきましたがいかがでしたでしょうか。各方面からお褒めの言葉を頂いた一方で、記事量が少なく情報が伝わりにくいのご意見も頂きました。これらの課題は次年度以降への引継ぎとして十分に議論・検討させていただきます。



そしてもうひとつの事業がホームページの運営であります。6月例会事業担当をきっかけに大幅なりニューアルを実施して、より発信力を高めた形に進化させ松山青年会議所の情報発信ツールとして取り組みましたが、更新が遅くなったことやブログが途中から更新されていないことが残念に感じております。委員長としてこの1年を振り返ると本当に色々な経験をさせていただき、私自身の成長につながったと思っています。

最後にお世話になった業者様、関係団体の皆様、そして何よりいつも協力してくれた委員会メンバーに感謝感謝であります。1年間ありがとうございました。



## ● 日本JC関係委員会

委員長 丸山 武

我々日本JC関係委員会は、1月の京都會議に始まり、7月のサマコン、家族例会、8月の創立記念、10月の全国大会、11月の世界会議と1年間JC運動・事業への積極的な参画を行ってきました。

京都會議においては、寒い中多数のメンバーに参加していただきました。

サマコンでは、全国大会誘致PRの為、多くのメンバーが横浜の地に来て頂きました。

家族例会には、沢山のご家族に参加していただきました。

8月の創立記念は、日曜日開催でしたが、数多くのシニアの先輩方に御出席して頂きました。

小田原全国大会においては、非常に残念な結果もありましたが、多くの卒業生が参加していただきました。

世界会議におきましては、多くのメンバーによって、松山をアピールできたのではないのでしょうか。

いたらない点は、数多くあったかもしれませんが、幹事をはじめとする委員会メンバー一丸となってこの1年頑張ってきました。個の集まりが団体となり団体として活動するその原点である個の修練を少しは高められたかもしれません。

次年度も、松山JCが自らの能力を高める学び舎であることを明確に発信し、憧れと誇りのまちを創造し人間力溢れる凜としたJCとして成長し、そしてJCの活動が市民の皆様の琴線に触れより良いまちづくりに貢献出来る様、勇気と使命感を持って行動したいと思います。



## ● 総務委員会

委員長 森 洋平



4年目のJAYCEEとして、経験という言葉の出来ないこの年に委員長という職を預かり、昨年9月の予定者の段階から1年と4か月全力で取り組み、なんとか無事に2010年度総務委員会委員長としての担いを全うすることが出来ました。これもひとえに、共に修練を乗り越えて頂いたメンバーの皆様のおかげだと感謝しております。本年度、諸会議の設営や議案の管理・アジェンダの作成などの取り組み。そして、総務という事務方といわれるこの委員会で、歴史のある『わんぱく相撲まつやま場所』という事業に関われたことは、メンバーそれぞれが、愛する郷土まつやまの為の事業に触れ、意識の変化を実感できるいい経験であったと感じました。この1年間、我々メンバーがどのように成長できたのか？青年の学舎としてこのJCに在籍している以上、この経験をしっかりと自分の会社に持ち帰り企業を成長させなければいけない。このように考えられるようになったのも、理事をさせて頂いたおかげであると感じます。1年間様々なご協力を頂いた皆様、本当にありがとうございました！

このJCに在籍している以上、この経験をしっかりと自分の会社に持ち帰り企業を成長させなければいけない。このように考えられるようになったのも、理事をさせて頂いたおかげであると感じます。1年間様々なご協力を頂いた皆様、本当にありがとうございました！

## ● 財政審査会議

財政局長 佐藤 泰規

当財政審査会議は松山JCの各委員会、各会議体が新公益法人制度に合致する為の事業の選定、予算編成、決算書の作成を行う為の補助機関として活動してまいりました。2010年度の活動内容といたしましては、予算書、決算書の様式変更があったため、この新様式での記載方法を指導してきました。また、2月例会におきましては、松山JCの現状の事業と会計について、どの事業に公益性が認められるか否かの説明と公益目的事業費率の計算方法を説明して頂きました。本会計の決算書及び予算書が公益社団法人格の取得申請時に必要になりますので、2011年度の第1回総会まで作業は進みますが、新公益会計基準に準拠した決算報告書の作成で、2010年度の財政審査会議の活動は終了となります。内部機関としての活動だけでしたので、目立った活動は出来ませんでしたが、2011年度の財政審査会議への橋渡しは出来たのではないかと思います。メンバーの皆さま、1年間どうもありがとうございました。

# 卒業生ご紹介



伊藤 一由  
(2005年5月入会)  
愛媛信用金庫 きし支店

J.Cへの入会。それは私にとつては大きな挑戦でした。

入会した六年前。毎日の仕事に追われて余裕のなかった私は、「J.Cに入会しなさい」と言う人事部の言葉に、「J.Cって何だろう？」とかなり不安になったことを覚えています。

あれから六年。青年の学び舎で得たものは数多くあります。今まで知らなかった様々な事業やイベントに参加させていただきありがとうございます。「明るい社会を築き上げる」J.C活動にあまり貢献できなかったことが心残りではありますが、学び舎で得た多くの仲間との友情を持つて卒業できることを出会ったすべての人に感謝いたします。本当にあり

がとうございました。卒業後も宜しくお願いいたします。



小川 仁  
(2002年5月入会)  
備おがわ

あつという間の、J.C生活でした。九年という期間でしたが、思えばたくさん思い出はありますが、活動前半の春まつりに携わった期間は先輩、仲間にも恵まれまさに友情を培った、楽しい思い出があります。後半のスタッフになつてからというもの修練の連続だったように思います。全体として奉仕の九年間であつたと思います。誰のために何のためにその事業をするのか、少しわかつたところに卒業です。現役の皆さん、事業にはたくさん参加してください。そして、誰のために、何をしているのか、しっかりと感じてい

J.C生活を送つて下さい。ありがとうございます。



奥村 裕紀  
(1999年1月入会)  
株式会社フラワー/フラワーショップ花泉

平成十一年一月に松山J.Cに入会させて頂きました。

きっかけは、以前から入会を勧めて頂いていましたが、ある日結婚式の主賓のあいさつをすることになつたとき、緊張のあまり頭が真っ白になり、満足にスピーチができなかつた事があつたからです。

そんな時、J.Cには人前で話す訓練ができると中城先輩に口説かれ、入会を決めました。

最初の年は「環境委員会」そして「市民シンポ委員会」「広報委員会」と渡り歩きましたが、後年は「総務委員会」に所属しました。

本当に楽しい十二年間でした。

以前より人前で話すこともなれて、今年の結婚式の祝辞は自分なりによかったです。

J.Cに入会して、「人生が変わつた！」と確信しております。

諸先輩方、現役のみなさん、今まで本当にお世話になりました。

これからも、「修練・奉仕・友情」を忘れずに、色々な事にチャレンジしていきます。



門田 伸治  
(2007年7月会)  
株式会社南海放送

「サラリーマンってことを言い訳にして、J.Cの活動に限界を設けてはいけませんよ。」入会して間もなく、ある現役メンバーから言われた事を今でも鮮や





『さらばJ.C、さらば青年の日々よ』に置き換えて感謝の心を以って卒業いたします。今まで本当に有り難うございました。そしてまた、これからも宜敷くお願いします。



河野 行信  
(2007年7月入会)  
マルマストリグ(株)

振り返りますと、九年前に宇和島J.Cに入会、そこでJ.Cの何たるか(酒の飲み方も含む)をみっちり教えていただき、転勤の都合で大洲J.Cに移ったときには五十周年を多くの仲間と共に迎えることが出来、また専務理事も経験させていただきました。そして松山J.Cでは、様々な事業、諸会議や懇親会を通じて(皆さんには大変な迷惑を振り撒きました)成長させていただきました、宇和島、大洲、松山

を通じて大変幸せなJ.Cライフを送ることが出来ました。また、今年度は愛媛ブロックにも運営側として出向させていただきました、密度のある充実したラストイヤーになりました。これも偏に皆様のお陰と心より感謝申し上げます次第です。

これからも松山J.Cは様々な壁にぶつかると思いますが、しかし松山J.Cは、壁に相對したときにそれをチャンスと捉え、そこへ皆の力を集中させることが出来る、そんな強いJ.A.Y.C.E.Eの集まりだと思えます。来年度、現役の皆様と同じ場所に立てないのが大変悔しいのですが、シニアとしてバックアップしていきたいと思っておりますので、今後ともよろしく願います。ありがとうございますました。



近藤 弘志  
(2005年5月入会)  
愛媛合同物流(株)

二〇〇二年、北川憲先輩からお誘いを受けて入会した松山青年会議所。二〇〇六年委員長、二〇〇七年室長、二〇〇八年、二〇〇九年理事メンバーとして、また、二〇〇八年から二〇一〇年度まで、日本青年会議所第五十八代会頭安里繁信中四国担当補佐として、活動させていただきました。私にとつて、

J.Cは、すべてではありません。しかし、J.Cに入つたおかげで今の自分があります。自信を持つて、この青年期といわれる時間にJ.C運動を選択して間違ひなかつたといえる経営者の一人です。自らの成長が企業の成長につながりそして地域の活性化につながる。今後十年後の自分を見据えて自分作り

に励んでいきたいと思えます。



佐々木 啓行  
(2005年5月入会)  
㈲アルファス

平成十七年に松山J.Cに入会させていただきました、あつという間に今年卒業となりました。私はもともと

松山には縁もゆかりもなく、入会にあたって紹介者もない状態でしたが、仕事の都合で松山に移り住んだことをきっかけに、自ら松山J.Cへの入会を希望しました。今までの活動の中で様々な貴重な経験や学びの機会、自己修練の場を頂きました。そして何より、人生の財産ともいふべきたくさんの方の友情を頂きました。この団体に所属しなければ決してできなかったであろう経験や、決して出会うことのなかったであろう友人との思い

出を振り返る時、松山青年会議所への感謝の気持ちで一杯になります。短い間ではありましたが本当にありがとうございますました。



高岡 秀臣  
(2005年5月入会)  
日産プリンス愛媛販売、ルノア愛媛

この度、J.Cを卒業させていただきたく事になりました。まだ、先の事だと思つて

いたのですが、月日が経つのは案外早いものです。これからは、毎月最低二回J.Cの仲間達と飲んで騒ぐ機会が無くなつてしまふのが残念ですが、他の異業種交流会と異なり、参加できる期間が限定されている事で、より密度の濃い時間を共有できる事は素晴らしい事だと思います。市川海老蔵が泥酔してトラブルを起こしています